

狛江市市民協働事業提案制度

(令和4年度募集要領)

◇市民協働事業提案制度とは

地域には、自然・環境、都市基盤、子育て・福祉・健康づくり、教育・文化等、様々な分野にわたって公共的な課題があります。

市民協働事業提案制度は、そうした地域にたくさんある悩みごとを解決するために、市民活動団体の持つ力と行政の持つ力をともに活用し、効果的に課題解決へ取り組むことができる制度です。

市HPはこちらから



◇制度のメリット

市民活動団体にとってのメリット

- 行政が持つ情報や知識を活用して事業を実施することができるため、それらを団体の活動内容に活かしていくことができます。
- 行政と協働で事業を実施することで、団体の信用度を高めることができます。
- 団体として新たな展開やステップアップが図られ、その足がかりとすることができます。

行政にとってのメリット

- 市民活動団体と一緒に事業に取り組むことで、団体が持つ専門知識やノウハウを知ることができ、意識醸成に繋がります。
- 行政が気付かなかった公共課題を知ることができ、多様化する市民ニーズに対応していくことができます。

両方にとってのメリット

- 事業の企画や運営、広報活動、会場・資金の確保などをお互いの得意分野で役割分担することができ、より効果的な事業の実施が期待できます。

募集期間：令和4年4月15日（金）～6月17日（金）

※提案を希望される方は、必ず事前相談を行ってください。（要事前予約）

＜提出・問合せ先＞ 狛江市企画財政部政策室市民協働推進担当 ※事前相談の予約もこちらまで

TEL:03-3430-1164 メールアドレス：kyodot@city.komae.lg.jp

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、郵送またはメールでの御提出に御協力ください。

【注意！】市民協働事業提案制度は、市が補助金を出す制度ではありません。行政とともに課題解決に取り組む制度です。

目次

◇市民協働事業提案制度とは	1
◇制度のメリット	1
◇募集する提案	2
◇提案制度の要件	3
◇市民提案型	4
<提案から事業実施までの流れ>	4
<令和4年度のスケジュール>	5
<申請に必要な書類>	5
◇行政提案型	6
<提案から事業実施までの流れ>	6
<令和4年度のスケジュール>	7
<申請に必要な書類>	7
<令和4年度募集テーマの事業概要>	8
◇審査の方法	12
◇審査のポイント	12
◇提案のポイント「市民協働の意味を念頭に置く」	13
◇経費の考え方	14
◇市総合基本計画施策一覧	15
◇過去の採択事業	16
◇狛江市市民活動支援センターの活用	18

※申請書類は市HPからダウンロードできます

ホーム > 市政情報 > 参加と協働のひろば > 市民参加と市民協働に関する提案制度
> 市民協働事業提案制度とは

狛江市 提案制度

検索

◇募集する提案

1) 市民提案型

市民活動団体の活動内容を十分に活かせる分野にて、団体自身が自由にテーマを設定し、行政と協働で実施することで、団体のステップアップ等に繋げるための事業提案

2) 行政提案型 ※令和4年度の募集テーマの詳細については、P8～P11を御確認ください。

狛江市の各担当部署にて抱える行政課題に基づいて、狛江市がテーマを提示し、市民活動団体と協働で取り組むことで、より効果的・効率的な課題解決に繋げるための事業提案

◇提案制度の要件

◆提案できる団体 ⇒ 市民活動団体（ボランティア団体、NPO 法人、町会・自治会等）

『市民公益活動団体登録』のある団体

※登録方法の詳細は市にお問い合わせください。既に登録済の場合、新たな登録は不要です。

（団体登録の主な要件）

- ・ 公益性および公開性を有し、代表者を含め3名以上の役員がいること
 - ※公益性：特定の誰かの利益に繋がるものではなく、多くの人のためになること
 - ※公開性：団体の活動内容等を積極的に公開すること
- ・ 所定事項が明記された会則および会員名簿等を有すること
- ・ 市が定める以下の条件のいずれかに適合すること
 - ※団体の役員に狛江市に住所を有する者がいること
 - ※団体の事務所、活動拠点が狛江市内にあること
 - ※団体の活動範囲に狛江市を含むこと

※対象外の団体

- ・ 営利を目的とする法人（株式会社などの配当があるものことを行い、収益をあげてはいけないということではありません。）等

◆対象事業 ⇒ 提案団体と市の協働実施が可能で、役割分担が明確・適切であるもの

（協働事業の主な要件）

- ・ 狛江市内で行われる事業であること
- ・ **令和5年度**に実施可能な事業であること
- ・ 単年度で完了する事業であること（年度ごとに連続して提案し、実施する場合は御相談ください）
- ・ 地域社会の発展、または、地域の課題および社会的な課題の解決が期待できる事業であること
- ・ 協働で実施することにより、より大きな効果が期待できる事業であること
- ・ 協働で実施することが制度的に可能であり、その役割分担が明確かつ適切な事業であること

※対象外の事業

- ・ 営利を主たる目的とするもの
- ・ 政治、宗教、選挙活動を目的とするもの
- ・ 特定の個人や団体のみが利益を受けるもの
- ・ 公序良俗に反するもの 等

◇市民提案型

<提案から事業実施までの流れ>

- ① **市民公益活動団体への登録**（登録先：政策室）
事前に市民公益活動団体として市に登録が必要です。



- ② **事前相談【4月～5月】**（相談予約先：政策室）
★**市民協働事業実施計画書（検討内容を記入したもの）が必要**
企画・検討している事業のイメージを把握するため、申請前に、政策室、こまえぼ 1234 との相談が必要です。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン等でも対応可



- ③ **提案事業の申請【6月】**（申請先：政策室）
令和4年6月17日（金）必着で、申請書類を政策室へ提出



- ④ **市の担当部署を決定【7月】**
提案された事業の内容等に応じて事業担当部署を決定し、提案団体および事業担当部署に通知します。



- ⑤ **市の担当部署へ質問【7月】**（提出先：担当部署）
担当部署決定の翌日から 14 日以内に、担当部署に対して質問書により質問ができます。



- ⑥ **公開プレゼンテーション、審査【7月】**
提案した事業について、**7月30日（土）**にプレゼンテーションを行っていただきます。審査は、狛江市市民参加と市民協働に関する審議会が担当します。審議会は協働事業としての実施が望ましいか否かを判断し、市に答申します。



- ⑦ **提案事業に対する結果通知【9月】**
市は、審議会の答申を受け、提案された事業を協働事業として実施するか否かを決定し、**9月中**に提案団体へ通知します。
※結果は市ホームページでも公表します。



相談時には、市民協働事業実施計画書を基に気になる点等ぜひこの場で相談してください。
※未記入の箇所があっても構いません。

ぜひ質問してください！
事業実施は担当部署と行うことになりますので、お互いの考えを知ることも大切です。

審査のポイント（P12）を参考に、申請からプレゼンテーションまでの流れを練ってみてください。

⑧

協議【9月～】（協議先：担当部署）

事業実施が決定した場合は、次年度の事業実施に向けて、提案団体と担当部署で事業内容の協議、調整を行います。

※担当部署は、事業に係る予算を次年度予算に計上します。



⑨

協定締結、予算確定【3月】（手続き先：担当部署）

協議後、提案団体と担当部署で協定を締結します。予算は市議会の議決により令和5年3月頃に確定します。



⑩

令和5年度中に提案事業を実施します。



⑪

報告書作成

事業終了後8週間以内に事業報告書を作成します。報告書は、ホームページで公表するとともに、市の担当部署で閲覧できるようにします。

協定書には「協働の原則」「相互の役割分担」「情報の共有体制」等、事業を実施する上で相互に遵守しなければならない事項を盛り込みます。



報告書には協働事業の成果や実施した感想などを盛り込んでください。



<令和4年度のスケジュール>

- ・募集期間 : 4月15日（金）～6月17日（金）
- ・担当部署の決定 : 7月上旬予定
- ・プレゼン、審査 : 7月30日（土）※審査結果は後日（9月中）文書で通知
- ・協議、調整、予算積算 : 9月以降
- ・提案事業の予算確定 : 令和5年3月頃
- ・事業実施 : 令和5年度中（事業実施前に市と協定を締結します。）

<申請に必要な書類>

様式第1号 市民提案型市民協働事業実施計画書

※「市総合基本計画該当施策」については、P15に記載のものを確認のうえ、該当する施策番号及び施策名を記入してください。

様式第2号 市民提案型市民協働事業提案書

様式第3号 市民提案型市民協働事業収支計画書

添付書類 ・定款または会則等

・前年度の活動実績がある場合は、前年度事業報告書および収支決算書

・役員名簿

・その他参考となるもの

申請書類は、担当部署が提案事業によってどのような取組みが行われるかを知る上で、重要な書類となります。

団体のこれまでの活動内容や提案内容の構想がわかるよう、できる限りデータ資料や写真などを提示してください。

※提案書類は個人情報を除き、プレゼンテーションの際に来場者へ配布いたします。

◇行政提案型

<提案から事業実施までの流れ>

- ① **市民公益活動団体への登録**（登録先：政策室）
事前に市民公益活動団体として市に登録が必要です。



- ② **募集テーマの公表【4月】** ★P8～P11に掲載
令和4年4月中旬に、今年度の募集テーマを市広報等で公表します。



- ③ **市の担当部署へ質問【4月】**（提出先：担当部署）
募集テーマを公表した日の翌日から14日以内に、担当部署に対して質問書により質問できます。



- ④ **事前相談・調整【4月～5月】**（相談予約先：政策室）
★**市民協働事業実施計画書（検討内容を記入したもの）が必要**
企画・検討している事業のイメージを把握するため、申請前に、政策室、こまえくぼ1234との相談が必要です。
相談後、担当部署との調整を行っていただけます。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン等でも対応可



- ⑤ **提案事業の申請【6月】**（申請先：政策室）
6月17日（金）必着で、申請書類を政策室へ提出



- ⑥ **公開プレゼンテーション、審査【7月】**
提案した事業について、**7月30日（土）**にプレゼンテーションを行っていただけます。審査は、狛江市市民参加と市民協働に関する審議会が担当します。審議会は協働事業としての実施が望ましいか否かを判断し、市に答申します。



- ⑦ **提案事業に対する結果通知【9月】**
市は、審議会の答申を受け、提案された事業を協働事業として実施するか否かを決定し、**9月中**に提案団体へ通知します。
※結果は市ホームページでも公表します。



相談時には、市民協働事業実施計画書を基に気になる点等ぜひこの場で相談してください。
※未記入の箇所があっても構いません。

審査のポイント（P12）を参考に、申請からプレゼンテーションまでの流れを練ってみてください。

⑧

協議【9月～】（協議先：担当部署）

事業実施が決定した場合は、次年度の事業実施に向けて、提案団体と担当部署で事業内容の協議、調整を行います。

※担当部署は、事業に係る予算を次年度予算に計上します。



⑨

協定締結、予算確定【3月】（手続き先：担当部署）

協議後、提案団体と担当部署で協定を締結します。予算は市議会の議決により令和5年3月頃に確定します。



⑩

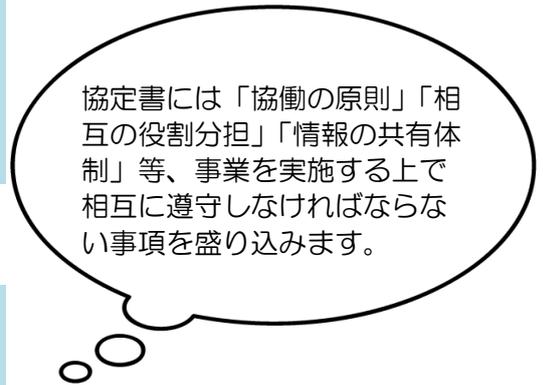
令和5年度中に提案事業を実施します。



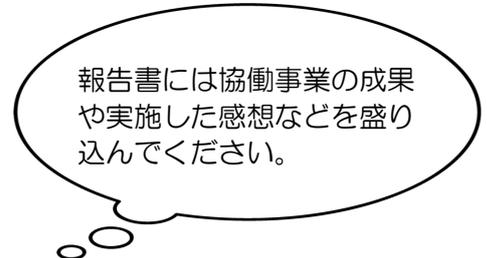
⑪

報告書作成

事業終了後8週間以内に事業報告書を作成します。報告書は、市ホームページで公表するとともに、市の担当部署で閲覧できるようにします。



協定書には「協働の原則」「相互の役割分担」「情報の共有体制」等、事業を実施する上で相互に遵守しなければならない事項を盛り込みます。



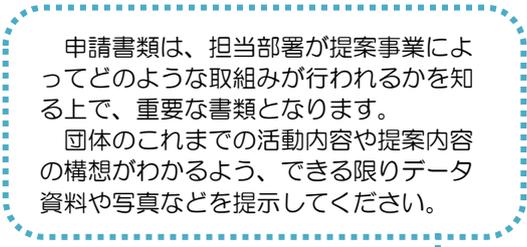
報告書には協働事業の成果や実施した感想などを盛り込んでください。

<令和4年度のスケジュール>

- ・募集期間 : 4月15日（金）～6月17日（金）
- ・プレゼン、審査 : 7月30日（土）※審査結果は後日（9月中）文書で通知
- ・協議、調整、予算積算 : 9月以降
- ・提案事業の予算確定 : 令和5年3月頃
- ・事業実施 : 令和5年度中（事業実施前に市と協定を締結します。）

<申請に必要な書類>

- 様式第2号 行政提案型市民協働事業実施計画書
- 様式第3号 行政提案型市民協働事業提案書
- 様式第4号 行政提案型市民協働事業収支計画書
- 添付書類
 - ・定款または会則等
 - ・前年度の活動実績がある場合は、前年度事業報告書および収支決算書
 - ・役員名簿
 - ・その他参考となるもの



申請書類は、担当部署が提案事業によってどのような取組みが行われるかを知る上で、重要な書類となります。

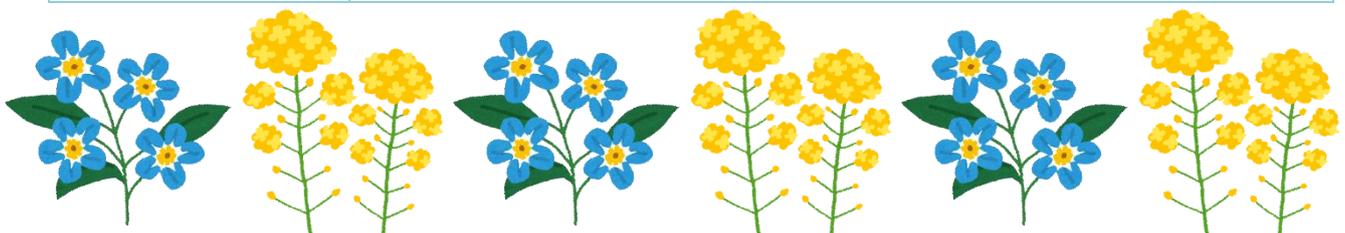
団体のこれまでの活動内容や提案内容の構想がわかるよう、できる限りデータ資料や写真などを提示してください。

※提案書類は個人情報を除き、プレゼンテーションの際に来場者へ配布いたします。

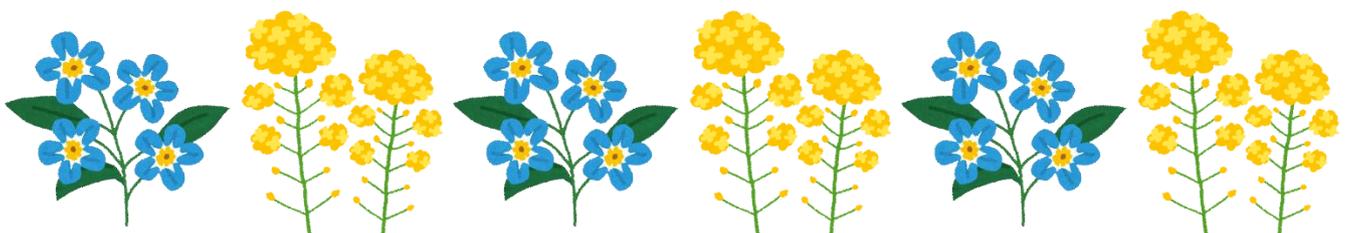
<令和4年度募集テーマの事業概要>

事業概要を確認のうえ、テーマに対する事業の条件・内容等を踏まえた事業を提案してください。

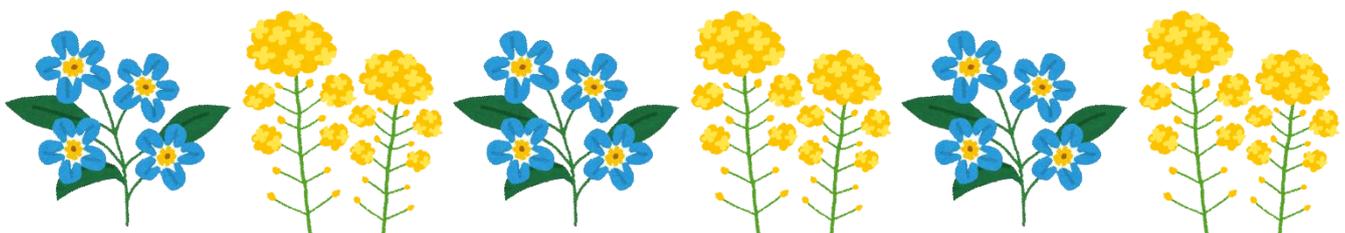
テーマ（事業名）	
1 外国人を支えるやさしいまち	
現状と課題	市内において現在約 1,300 人の外国人住民が生活を送っているが、言語等の面で地域等でのコミュニケーションや日常生活に困難を抱えている人もいる状況である。また、日常生活に困らない言語として日本語を挙げる人も多いが、やさしい日本語（※外国人等にも分かるように配慮して簡単にした日本語）で情報発信を希望する人も多い。このような状況の解決にあたっては、外国人住民への支援だけではなく、日本人の外国人への理解等も必要であり、地域の一員として暮らすことができる環境、またそのきっかけづくりが引き続き必要である。
テーマに対する事業の条件・内容等	以下のいずれか、または複数の内容を満たすもの <ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民の困りごとの解消につながるもの ・外国人住民への日本語支援につながるもの ・やさしい日本語の普及につながるもの ・外国人と日本人の相互理解・課題共有の機会となるもの
協働により期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ分野に精通した団体との協働により、課題解決に有効な事業実施が期待できる。 ・多文化共生社会の推進に関して、市民への啓発にもつながることが期待できる。
協働事業者の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・設定テーマに関心があり、課題解決につながる提案を行うことができること ・主導的に事業の提案や企画、運営等を行うことができること ・性別、年齢等に関わらず誰もが参加しやすい事業を実施できること
役割分担	<p>（市の役割） 予算等の確保、事業の調整・実施、広報 等</p> <p>（提案者の役割） 事業の企画・調整・実施、広報 等</p>
事業期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
担当部署からのメッセージ	<p>狛江が文化、習慣等が異なる外国人住民の方にとっても日常生活を安心して暮らせるやさしいまちとなるよう、何か活動したい！という思いを持った皆さんからの多文化共生社会につながる素敵なアイデアをお待ちしています。</p>
担当部署名	企画財政部 政策室 市民協働推進担当



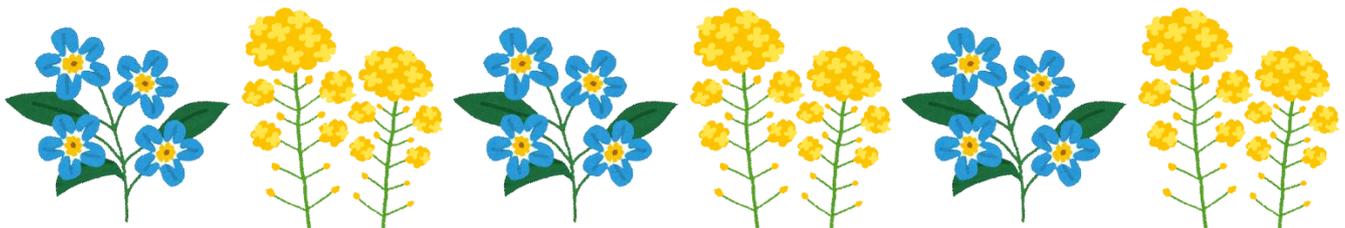
テーマ（事業名） 2 市庁舎等における緑化デザイン	
現状と課題	<p>前期基本計画では、まちづくりの方向性の一つとして、公共施設を含めた緑視率の向上により、質の高い緑のネットワークづくりに取り組むこととしている。</p> <p>市役所ではこれまで、建物外壁のグリーンカーテン等個別の取り組みを行ってきたが、市民ひろばを中心に、庁舎敷地内を一つのテーマに基づいてデザインすることで、市役所を緑のネットワークの起点として内外に発信していきたい。</p>
テーマに対する事業の条件・内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所市民ひろば等の緑化（花植え、緑のカーテン等）に関する適正配置の検討
協働により期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所敷地内の緑化推進 ・環境ボランティアの活用 ・市民による魅力あるまちづくりの実現
協働事業者の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・設定テーマに関心があり、課題解決につながる提案を行うことができること
役割分担	<p>（市の役割） 予算等の確保、事業の検討・調整・実施、広報 等</p> <p>（提案者の役割） 事業の検討・調整・実施・報告 等</p>
事業期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
担当部署からのメッセージ	市民の皆さんの自由な発想や来庁者目線での御意見・御提案をお待ちしています。
担当部署名	総務部 総務課 庶務統計係



テーマ（事業名）	3 狛江の次世代特産商品の開発
現状と課題	<p>広島はもみじ饅頭とお好み焼き、仙台は牛タン等、その土地その土地には名物となる食べ物がセットになっていることが多く、特産品を賞味することを目的にその土地を訪れることもある。狛江市ではこれまで他の地域に比べて粒が大きく甘みのある「枝豆」をPRするとともに、市内事業者によって市内の農産物である枝豆を利用した「えだまめアイス」や「こまえる」などの商品開発が行われ、販売されてきたものの、季節ものの要素が大きく、広く認知されているとは言えない状況である。</p>
テーマに対する事業の条件・内容等	<p>・提案団体に具体的商品の検討と商品開発を行っていただき、市はそれらに要する経費を補助する。商品開発完了後、市で実際に商品を製造・販売してくれる事業者の募集や商品のPRを行っていく。</p> <p>※提案団体が商品開発後に製造・販売することも可</p>
協働により期待される効果	<p>季節を問わず、老若男女に広く愛される魅力的な特産商品を開発することにより、狛江市に愛着を持ってもらうとともに、特産商品を目当てとした市外からの来客が期待できる。また、特産商品の知名度が上がることにより、狛江市の知名度向上につながることを期待できる。</p>
協働事業者の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・狛江の魅力発信に熱意があること ・農産物の育成や食品開発、食品衛生等の知識を有すること ・様々な年代や性別、考え方を持つ市民の意見を聞き、幅広い市民が参加できる事業を行う意識があること
役割分担	<p>（市の役割） レシピの普及・商品販売事業者の募集・商品のPR 等</p> <p>（提案者の役割） 具体的商品の検討・商品の開発・開発後のレシピの提供 等</p>
事業期間	令和5年度中
担当部署からのメッセージ	<p>市民の皆さんの自由な発想で、市内外で未永く愛される特産商品を開発し、狛江市がもっと魅力的になることを楽しみにしています。</p>
担当部署名	市民生活部 地域活性課 地域振興係



テーマ（事業名） 4 不登校の子どもたちの居場所づくり	
現状と課題	市内には、不登校・集団不適応・ひきこもり等の問題を抱える子ども・若者の「学びの場」として、NPO法人が運営するフリースクールがあり、当該施設に通所する発達障がい児に対し、狛江市発達障がい児等学習支援事業補助金交付要綱に基づき補助を行っているところである。しかしながら、次年度以降の当該施設の運営が休止されることとなり、新たな「学びの場」を確保する必要がある。
テーマに対する事業の条件・内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・若者の「学びの場」事業を実施する。併せて、子ども・若者の「居場所」や相談の場としていくことで、生きづらさを解消していく。 ・施設整備等は市が行うが、運営については、団体が行うことで協働事業とする。
協働により期待される効果	・不登校児の「学びの場」を確保することで、多様で適切な学習活動につなげ、誰一人取り残すことのない子ども若者施策を推進していく。
協働事業者の条件	・安定・継続して「学びの場」の提供をすることができ、合わせて、子ども・若者の「居場所」、相談の場を提供することができるNPO法人等
役割分担	<p>（市の役割） 予算等の確保、施設整備、事業の調整・実施、広報 等</p> <p>（提案者の役割） 事業の企画・調整・実施 等</p>
事業期間	令和5年4月1日以降
担当部署からのメッセージ	子ども、若者の多様な学びの場や居場所の確保が課題となっています。一緒に子ども・若者の生きづらさを解消していくことのできる団体からの提案をお待ちしています。
担当部署名	子ども家庭部 子ども政策課 企画支援係



◇審査の方法

- 提出いただいた書類と公開プレゼンテーションにより、狛江市市民参加と市民協働に関する審議会が審査を行います。
- プレゼンテーションの持ち時間は1事業につき15分です。10分程度で説明を行っていただき、その後の5分程度を審査委員との質疑応答時間とします。
- 提案事業の具体的な内容、特徴、必要性および団体と行政の役割分担等を説明し、提案事業を協働で実施することの有効性等をアピールしてください。
- 口頭での説明とあわせて、ホワイトボードやプロジェクターを利用することも可能です。（政策室で用意します。）
パワーポイント等の電子データは事前に政策室まで提出していただきますので、これらの利用を希望される場合は事前にご連絡ください。

◇審査のポイント

各提案事業について、以下の7つのポイントにより審査します。★重点ポイント

評価項目	評価の視点・ポイント	点数
事業について	★ <u>公益性</u> 提案事業は、地域社会の発展または地域課題の解決に寄与するものであるか。また、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するものであるか。 例えば ・・・ 団体の知名度や利益を上げるためだけの事業ではない。	／ 6
	<u>具体性</u> 事業内容や実施方法に具体性があり、市と団体の役割分担が明確かつ適切か。 例えば ・・・ 団体が実施したことがある事業内容を活かしたり、発展したものになるよう努力している。	／ 3
	<u>実現性</u> 事業計画は妥当であり、 ウイズコロナ、アフターコロナに対応する など事業に実現性があるか。 例えば ・・・ 市内の公園にて開催するイベントが、無理のない実施方法となっている。	／ 3
	<u>効率性</u> 収支予算は妥当であり、事業に効率性があるか。 例えば ・・・ チラシの印刷は市役所内の印刷機を利用するようになっている。	／ 3
団体について	★ <u>協働性</u> 団体と市が協働することによって、さらなる効果が期待できる事業であるか。また、それぞれの強みを活かし、対等な立場で実施できる事業であるか。 例えば ・・・ 市の役割が、労働力と資金提供のみになっていない。	／ 6
	<u>実施能力</u> 提案団体は、提案事業を実施する能力を持つか。 例えば ・・・ 提案事業の基本となる活動を、団体ですで行ったことがある。	／ 3
	★ <u>発展性</u> 事業内容は、現状の団体の活動内容から発展性が見られるか。また、提案事業を実施することにより、団体の活動に発展が期待できるか。 例えば ・・・ 提案事業を実施した後、この経験を活かした団体のビジョンが描かれている。	／ 6

※ 4段階評価で、重点ポイントでないものは、それぞれ1/2の点数となります。（合計30点）

- 例) 公益性★：1. 大変寄与する（6点）、2. 寄与する（4点）、
3. あまり寄与しない（2点）、4. 全く寄与しない（0点）

※審査基準点は、合計 30 点の 1/2 となる 15 点×審査委員数以上、かつ重点ポイントについては「寄与する」等 4 点を基準とした 3 項目の合計 12 点×審査委員数以上となります。

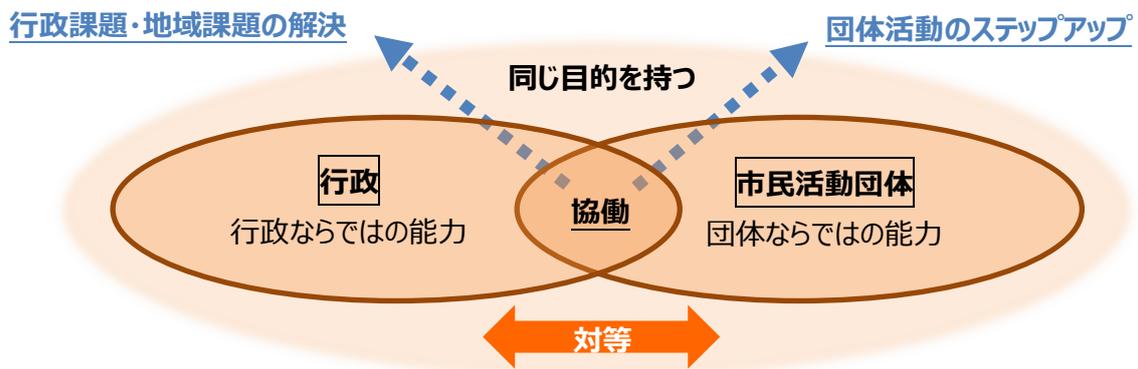
例) 審査委員が 3 人の場合

45 点 (15 点×3 人) 以上、かつ重点ポイント 36 点 (12 点×3 人) 以上

※審査基準点と審査委員による審議により総合的に評価します。

◇提案のポイント「市民協働の意味を念頭に置く」

行政は、地域の中の社会的課題を解決する役割を持っていますが、行政のみの力だけでは解決できないことがあります。市民協働は、そうした課題に対して、市民活動団体と行政がパートナーとなり、団体の持つ力と行政の持つ力を発揮しあうことで解決を進めるものです。



POINT ! ・お互いの能力をどのように活用して社会的課題の解決を行うのか
・団体の発展へどう繋げていくのか

★行政の能力を生かしているのか？ ★市民ボランティアではダメなのか？ ★その他の資金獲得は難しいのか？

◇経費の考え方

- ・費用のかからない事業でも申請することができます。
- ・費用が必要な場合は、行政の予算にすべてを頼るのではなく、事業の継続性を高めるためにも、受益者からの負担金の徴収や、企業協賛の募集等による資金確保に努めてください。
- ・収支計画書に記載された予算をすべて市で負担できるとは限りません。

《支出経費の区分例》

○旅費交通費	視察および講師招聘等に要する公共交通機関を利用する場合の運賃等
○通信運搬費	郵便、電話料、宅配便等に要する経費
○謝礼金	講師等の謝礼金 ※ <u>市の報償費基準に準じてください。基準については、事前にお問合せください。</u>
○会議費・会場費	会議等の会場使用料および備品借上料 ※市施設での実施、市所有備品の借上の場合、費用はかからないものとしてください。
○印刷製本費	チラシ等の印刷費、報告書の印刷および製本費 ※役所内での印刷（白黒）が可能な場合は、費用はかからないものとしてください。
○消耗品費	事業を実施する上で必要な機材、材料、消耗品等の経費
○保険料	ボランティア保険料およびイベント保険料
○運営管理費	事業を運営・実施するために必要な管理費

(対象外の経費)

- 団体の事務所等を維持するための経費
- 団体の経常的な活動に要する経費
- 団体の構成員（役員および会員）の食料費
- 団体の構成員の人件費等（給与のほか、報酬・報償等。交通費等の費用弁償は除く）
- 会議の茶菓子代、慰労会費、加入団体への会費など

御自分の団体で事業の実施を考えると、極限まで費用の負担を減らせるよう方法を検討されると思います。市との協働事業とはいえ、市の予算にも限りがありますので、できる限りの支出削減やその他の資金獲得を御検討の上、申請をお願いいたします。

◇市総合基本計画施策一覧

前期基本計画（計画期間：令和2年度～令和6年度）では、市のまちづくりの方向性等を実現するための施策を示しています。課題の把握や提案内容を検討する際に参考にしてください。

※市民提案型市民協働事業については、市民提案型市民協働事業計画書に記載する「市総合基本計画該当施策」の施策番号（例：施策1－①）及び施策名（例：平和の希求・人権の尊重）を以下より選択してください。

市総合基本計画該当施策一覧

まちの姿1 人権が尊重され、市民が主役となるまち

- 施策1－① 平和の希求・人権の尊重
- 施策1－② 市民参加・市民協働の推進
- 施策1－③ 市政情報の共有

まちの姿2 安心して暮らせる安全なまち

- 施策2－① 防災体制の充実
- 施策2－② 防犯対策の強化

まちの姿3 活気にあふれ、にぎわいのあるまち

- 施策3－① 魅力の創出・向上・発信
- 施策3－② 地域コミュニティ・都市間交流の推進
- 施策3－③ 商工業の振興
- 施策3－④ 都市農業の推進

まちの姿4 子どもがのびのびと育つまち

- 施策4－① 地域社会で支える子育て
- 施策4－② 子どもの居場所づくりと成長の支援
- 施策4－③ 妊娠・出産・育児までのあ切れ目のない支援
- 施策4－④ 学校教育の充実

まちの姿5 いつまでも健やかに暮らせるまち

- 施策5－① 地域共生社会づくりの推進
- 施策5－② 健康づくりの推進
- 施策5－③ 高齢者への支援
- 施策5－④ 障がい者への支援
- 施策5－⑤ 生活困窮者への支援

まちの姿6 生涯を通じて学び、歴史が身近に感じられるまち

- 施策6－① 地域における学びの充実
- 施策6－② 芸術文化・スポーツの振興
- 施策6－③ 歴史への理解と継承

まちの姿7 自然を大切に、快適に暮らせるまち

- 施策7－① 水と緑の快適空間づくり
- 施策7－② 都市環境の確保
- 施策7－③ 循環型社会の推進
- 施策7－④ 下水道機能の維持・向上
- 施策7－⑤ 市街地整備の推進
- 施策7－⑥ 道路・交通環境の充実

まちの姿8 持続可能な自治体経営

- 施策8－① 質の高い行政運営の推進
- 施策8－② 持続可能な財政運営の推進
- 施策8－③ 組織づくり・人材育成の推進

前期基本計画の詳細はこちらから



↑「施策番号」に該当 ↑「施策名」に該当



◇過去の採択事業

市民提案型

1

平成 24 年度実施事業（平成 23 年度提案）

『狛江プレーパーク（仮名）』

定常的な冒険遊び場の設置を目指し、実現の可能性について実践的な調査・研究を行いました。

- 実施団体：狛江にプレーパークをつくる会
- 事業担当部署：子育て支援課／道路公園課 ※実施時の部署名
- 事業内容：条件が異なる市内 5 カ所にて冒険遊び場を開催（近隣への聞き取りや来場者アンケート実施）、常設プレーパークを視察、実施結果を分析

2

平成 28 年度実施事業（平成 27 年度提案）

『食品ロスの問題を困窮者支援と結んで考えていく講演会、フードドライブを通じて市民に広く働きかける協働事業』

狛江市民をはじめ、多くの人に食品ロスの問題と、困窮者支援の活動を周知することを目的に実施しました。

- 実施団体：NPO 法人フードバンク狛江
- 事業担当部署：福祉相談課
- 事業内容：講演会とリレートークの開催、狛江市庁舎で市民からの食品寄贈（フードドライブ）受付の実施

3

平成 31 年度実施事業（平成 30 年度提案）

『一生に一度、アジア初ラグビーワールドカップ 2019 を、プロラグビー選手のルール解説と共にパブリックビューイングで観戦しよう！！』

多くの人にラグビーの魅力やスポーツの素晴らしさを体感することを目的に、ラグビーワールドカップ 2019 日本代表戦のパブリックビューイングを実施しました。

- 実施団体：狛江市ラグビーフットボール協会
- 事業担当部署：政策室
- 事業内容：パブリックビューイングと選手によるトークショーの開催

1

平成 27 年度実施事業（平成 26 年度提案）

『みんなで「エンディングノート」を考え、作ろう！』

狛江市独自のエンディングノートを作成し、広く活用してもらうことで、「老い支度」や「終活」への関心を高めるとともに、市への愛着の向上を図ることを目的に実施しました。

- 実施団体：NPO 法人狛江共生の家
- 事業担当部署：高齢障がい課
- 事業内容：勉強会の開催、エンディングノートの作成作業、市民向けの活用方法に関する講演会を実施、エンディングノートの配布

2

平成 27 年度実施事業（平成 26 年度提案）

『狛江市終戦 70 周年平和祈念事業』

終戦 70 年を機会として平和祈念事業を実施することによって、狛江市民をはじめ多くの人に、日常における平和の大切さを広く啓発することを目的として実施しました。

- 実施団体：狛江市終戦 70 周年平和祈念事業実行委員会
- 事業担当部署：政策室
- 事業内容：「5 月 25 日、みんなで輪をつくろう」写真、「平和の絵手紙」展、「平和のひとこと」作品集、終戦 70 周年平和祈念事業「今、大切にしたいこと」

3

平成 31 年度実施事業（平成 30 年度提案）

『出生届記念品等の作成』

出生という一大イベントの記念となる記念品を作成することに加え、戸籍届出をシティーセールスの機会と捉え、狛江市に一層愛着をもってもらい、ふるさと意識の向上やシビックプライドの醸成を目指し実施しました。

- 実施団体：一般財団法人狛江文化振興事業団「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会
- 事業担当部署：市民課
- 事業内容：出生記念台紙の作成

◇狛江市市民活動支援センターの活用



こまえくぼ1234 (狛江市市民活動支援センター)

市民協働事業提案制度の申請内容についての相談も随時受け付けています。団体の活動の一助となる場所ですので、是非御活用ください。

『こまえくぼ1234』は、市民の皆さんの生活をより良くするために、市民活動へ取組みたいと考えている個人や団体の方を支援しており、団体運営に関する相談や相談会、団体向け講座等を実施しています。ぜひお気軽にこまえくぼ1234にお問い合わせください。



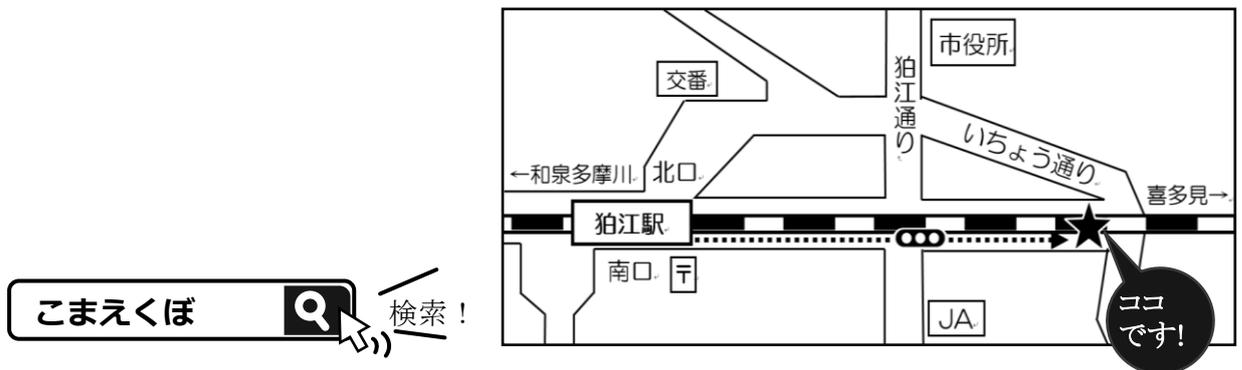
- ・音楽演奏をしてくれる団体を探している。
- ・狛江市の後援をとりたいが、どうしたらいいか。
- ・フリースペースでイベントを実施したい。
- ・運営が思うようにいかない。助成金を探している。
- ・提案制度の申請内容について、検討が行き詰っている。

○センターの利用について

開館時間 10:00～17:00 (火曜日定休日、祝日および12/29～1/3はお休み)

- ・フリースペース (待ち合わせやちょっとしたミーティング、作業などに自由に使えます。こまえくぼ1234と共催により、イベントを実施することもできます。)
- ・公衆無線 LAN (Wi-Fi)、パソコン、コピー機
- ・情報コーナー (狛江市を中心に、ボランティアや市民活動に関する情報誌やイベント、助成金などの情報を揃えています。)
- ・その他、講座や研修、団体交流サロンなど、様々な事業を行っています。

.....



- 小田急線狛江駅南口より徒歩5分小田急線沿い高架下 (緑の旗が目印です)
- 〒201-0003 狛江市和泉本町 1-2-34
- TEL 03-5761-5556 ●FAX 03-5761-5033 ●メール info@vc.komae.org